



先輩の姿から学ぶこと

2学期が始まって2週間が経ちました。子どもたちも次第に学校生活へのリズムの切り替えが進み、元気な姿を見せてくれています。

さて、9月の児童朝会では、今年の夏の全国高校野球選手権大会に鹿児島県の代表として出場した、本校の卒業生、一ノ瀬 獅堂さんのことを取り上げ、「小学生の時は、放課後の運動場でチームのみんなと野球の練習に打ち込んでいたこと。」「小学校卒業後も野球を続け、鹿児島県の高校に入学し、2年生でレギュラーとして活躍していること。」「甲子園球場で生き生きとプレーしていたこと。」を紹介しました。

そして、獅堂さんから学ぶこととして、次の4つのことを伝えました。

- ◇ 頑張ると上手になること。
- ◇ 頑張ると楽しくなること。
- ◇ 「できるようになりたい」とずっと思っていると、できるようになること。
- ◇ やめないで続けることが大切なこと。

獅堂さんの姿に学び、自分がめざすことに本気で取り組む子どもを育てたいと思いました。

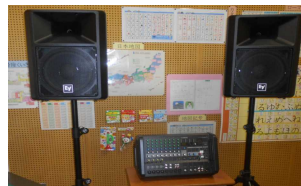
ちくご元気っ子クラブ（学童）より寄贈いただきました

これまで長きにわたり、筑後小学校の子どもたちを放課後預かっていた筑後小学校区学童保育所「ちくご元気っ子クラブ」が、4月から筑後保育所2階に移動しました。又、運営の主体が市から民間の会社に委託されました。これに伴い、保護者の方たちが「ちくご元気っ子クラブ」の施設の改修等のために積み立ててこられた積立金を、学校に寄贈して頂きました。学校では、この寄贈して頂いた積立金で子どもたちの学習や生活に役立つ物として、主に授業等で使用する拡大印刷機、主に運動会で使用する放送機器、各教室のカーテン、体育館の演題カバー、主に運動会で使用するテント1張りを購入させて頂きました。

「ちくご元気っ子クラブ」の保護者の皆様に感謝を申し上げるとともに、大切に使用させていただきたいと思っております。本当にありがとうございました。



拡大印刷機



放送機器



各教室のカーテン



体育館の演題カバー

【校長のつぶやき】「授業参観等における運動場の開放について」

1学期の保護者アンケートに、「学校行事（授業参観等）の時、車で行けるように、校庭を開放したり、策を考えてほしい」というご意見がありました。市内の小学校では、授業参観等で運動場を開放しているところもありますので、このような意見が出てくるのはよく分かります。

運動場に車を入れないようになったのは、運動場の全面改修工事を行ってからです（平成21年10月～平成22年1月）。工事前の筑後小の運動場は、水はけが悪く、雨が降れば、至る所に水たまりができ、外で遊ばない、体育ができないことがよくありました。そこで、運動場の水はけをよくする全面改修工事約4ヶ月間行われました。この間、子どもたちは、運動場で遊ばず、外での体育は、歩いて八女高校の運動場をお借りして行ってきました。我慢のかいあってか、工事後は、雨が降ってもすぐに乾き、遊んだり、体育ができる、市内でも有数の運動場となりました。ただ、車を入れてしまうと、配水管が潰れ、又、水はけの悪い運動場となるかもしれません。そこで、筑後小では、特別のこと以外は、運動場に車を入れないようにしています。保護者の皆様には、大変なご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。